

氏名	西村 健
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6535 号
学位授与の日付	2022 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Comparison of direct oral anticoagulant and vitamin K antagonists on outcomes among elderly and nonelderly trauma patients (高齢者と非高齢者外傷患者における新規抗凝固薬とビタミン K 競合薬との予後の比較)
論文審査委員	教授 座間味義人 教授 尾崎敏文 准教授 西田圭一郎

学位論文内容の要旨

【緒言】 DOAC(Direct Oral Anticoagulant)は VKA(Vitamin K agonist)と同様に広く使われている抗凝固薬であるが、外傷患者に対し VKA と DOAC の有効性は証明されていない。本研究で外傷患者に対する DOAC と VKA 内服患者に対する比較検討を行い、年齢による調整により影響をうけるか検討する。

【方法】 2011 年から 2018 年 6 月までにアメリカピッツバーグ大学に運ばれた外傷患者のうち、抗凝固薬を内服中の患者を抽出した。傾向スコアマッチングを用いて患者背景を統一し、院内死亡率を主要評価項目、輸血投与量・ICU 入院日数・人工呼吸器装着期間・転院先を副次評価項目として検討した。外傷重症度、重症頭部外傷、意識レベル、来院時ショック、加入している保険を調整因子として回帰分析を行った。65 歳以下と 65 歳以上でわけて結果が変化するか検討した。

【結果】 32,272 人の外傷患者のうち 530 人が DOAC 内服患者、1,702 人が VKA 内服患者であった。そのうち 668 人が比較の対象となった。統計の結果、全体の死亡率は優位な差がなかったが、65 歳以上では優位に VKA 群で死亡率が高かった。DOAC 群では優位に新鮮凍結血漿投与量が少なかった。

【まとめ】 本研究では DOAC 群は VKA 群と比較して死亡率の低下と新鮮凍結血漿の投与量が少なかった。

論文審査結果の要旨

DOAC(Direct Oral Anticoagulant)は VKA(Vitamin K agonist)と同様に広く使われている抗凝固薬であるが、外傷患者に対し VKA と DOAC の有効性は証明されていない。本研究では、外傷患者に対する DOAC と VKA 内服患者に対する効果を比較検討した。DOAC 群は VKA 群と比較して死亡率の低下と新鮮凍結血漿の投与量が少なかったことが示された。

委員からは、本研究で高齢者として定義した 65 歳以外の年齢による検討では、研究結果が違ったものになる可能性があるとの指摘があった。本研究者は、米国における高齢者の定義や、他の年齢における考察について具体例を上げて回答した。

本研究は、高齢者と非高齢者外傷患者における新規抗凝固薬とビタミン K 競合薬の比較等について、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。